



園だより



令和6年3月4日
秦野市立本町幼稚園
【HP版】

3月に入り、令和5年度も残り少なくなりました。このところ寒暖の差はありますが、暖かい日には園（校）庭でのボール遊びやごっこ遊び、鬼遊びなど、子どもたちもどことなく軽やかに動いているように見えます。卒園・進級に向けてのまとめの活動も進められ、子どもたちの成長を思いつつ、一年の時の流れの早さを感じます。

【3学期にはこんな場面が見られました】



本町小学校との交流（給食体験、1、5年生とのふれあい）

今年度は3回、年長児が給食体験をさせていただきました。子どもたちにとって、給食は楽しみ半分、心配も半分のようです。入学前に体験できることは安心につながります。この日のメニューには野菜がたくさん入っていましたが、おかずもご飯もおかわりする子が続出でした。



5年生（左写真）は入学後にペアとなる学年で、年長児に優しく声をかけて一緒に遊んでくれました。また、1年生（右写真）とは何回も交流を重ね、親しみも感じてきているようです。直接言葉を交わしてのかかわりは、より親近感がわき、就学への不安が和らいで期待が膨らんでいくことでしょう。



異学年や同学年の友達とのかかわり

年長児がコマ回しをする姿を見て、やりたくなった年少児。年長児が紐の巻き方から教えてあげていました。



年長児が雛人形づくりをしている際、友達同士で作り方を相談している姿がありました。

どちらの姿も、お互いを認め合いながら活動を進める中で、自分の力を発揮しようとしています。



自分たちで進めよう

この時期、年少児も友達と一緒に活動する中で、自分の思いを伝えたり、相手の思いを聞いたりすることが大切です。ルールのある遊びの面白さを感じて、自分たちで鬼決めをし、鬼ごっこを進めている姿がありました。時にはトラブルも発生しますが、それも成長のチャンス！先生と一緒に解決に向けた過程を繰り返し経験し、年長では、「自分たちで話し合う」という経験へと繋げていきます。



みんなで鬼を決めよう！



「まで〜！」
「うわあ！鬼にタッチされそうだな。」